

IMS グループ 広報誌 フラザイムス

PLAZA IMS

秋号 Vol.65

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



CONTENTS

指先を動かすようにアプローチ — ロボット手術「ダビンチ」で広がる選択肢 —

「ダビンチ」手術のご紹介 泌尿器科・呼吸器外科・消化器外科
メインドクターのごあいさつ

早期発見で早期治療を！

ITACHU NEWS



患者さまのために、その先へ

当院では、2019年4月に手術支援ロボット「ダビンチ」を導入いたしました。同時に前立腺がんの治療を開始し、同年12月には症例数100例を達成いたしました。

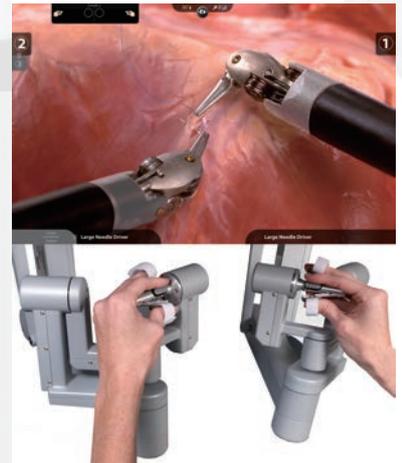
また、同年9月から直腸がん、12月から膀胱がん、肺がん、縦隔腫瘍（良性・悪性）、2020年2月には腎がんへと対応疾患の拡大を図ってまいりました。

そして2021年10月には、肺がん、縦隔腫瘍の呼吸器外科症例数100例目を達成いたしました。

今後もさらなる医療の質向上を目指し、邁進してまいります。

板橋中央総合病院の、「ダビンチ」導入の歩み

- 2019年 4月 泌尿器科にて、前立腺がん治療を開始
- 9月 消化器外科にて、直腸がん治療を開始
- 12月 泌尿器科にて、膀胱がん治療を
呼吸器外科にて、肺がん、縦隔腫瘍（良性・悪性）治療を開始
- 2020年 2月 泌尿器科にて、腎がん治療を開始
- 2021年 11月 腎盂形成術を開始



「ダビンチ」で、より多くの疾患を

— 導入後2年間で合計500例にのぼる、症例数

●適応疾患を拡大する、「泌尿器科」

前立腺全摘除術（2019年4月～）、膀胱全摘除術（2019年12月～）
腎部分切除術（2020年2月～）、腎盂形成術（2020年11月～）

当院のロボット手術センター長である吉岡医師は、合計2,000例に携わりました。

●術後の早期回復につなげる、「呼吸器外科」

ロボット手術によって、胸壁の損傷を少なくすることが可能です。肺がん手術・縦隔腫瘍手術の術後経過は、従来の胸腔鏡手術に優っています。

（当科での比較）

●複雑な部位を繊細な技術で扱う、「消化器外科」

腹腔鏡下・内視鏡・「ダビンチ」手術など、患者さまの状態に合わせた方法で幅広い疾患に対応しています。



左：板橋中央総合病院 泌尿器科
ダビンチ手術 100症例記念

右：吉岡医師 ダビンチ2,000症例記念

指先を動かすようにアプローチ — ロボット手術「ダビンチ」で広がる選択肢 —

当院には、常勤医師として「ダビンチ」のコンソールサージャン※が12名活躍しています。

ロボット手術ならではの正確を実現するのは、人。専門スキルと知識を持ち合わせた医師達です。

「ダビンチ」手術では、手ぶれ補正機能付きの操縦席で立体的に患部を確認しながら、自由に鉗子を操ります。

※ Intuitive surgical 社規定のトレーニングを受けた、ロボット支援手術の術者

泌尿器科

対象疾患：前立腺がん、腎細胞がん他

ロボット支援「前立腺全摘除術」以外にも、保険診療が適応となったロボット手術のひとつに、「腎部分切除」があります。これは、腎細胞がんを一部正常な腎実質※を付けて切除し、ベースとなる正常な腎臓自体を温存する手術方法です。その他、ロボット支援手術の保険適応が広がっています。当院の泌尿器科医師まで、ご相談ください。

※さまざまな腎臓の働きをする実質的な組織



呼吸器外科

対象疾患：肺がん（肺悪性腫瘍）、縦隔腫瘍（悪性・良性）

保険診療の適応となったロボット手術のひとつに、「肺葉切除術・区域切除術」があります。肺を切除する量の違いなど、患者さまの状態によって、どちらが適しているか決まります。胸壁・筋肉・肋骨などの損傷の少なさが特徴で、当院では術後の早期回復、入院期間の短縮につながっています。当院の呼吸器外科医師まで、ご相談ください。



消化器外科

対象疾患：直腸がん他

保険診療の適応となったロボット手術のひとつに、「直腸切除術」があります。ロボット手術では、腹腔鏡手術や開腹手術に比べて肛門を温存できる可能性が高くなります。また、直腸近くの神経※を温存できる可能性があり、術後の早期回復などにつながります。

当院の消化器外科医師まで、ご相談ください。

※排尿や性機能を担っている神経など



保険適応疾患全ての適応術式を開始、泌尿器科

「泌尿器科領域でのメジャーな手術に」

板橋中央総合病院 特任副院長／ロボット手術センター長／泌尿器科診療部長 医師：吉岡 邦彦



泌尿器科では、2012年に保険適応となった前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術に始まり、従来は開放手術や腹腔鏡下手術で施行されていた膀胱癌に対する膀胱全摘除術、小径腎癌に対する腎部分切除術などの悪性疾患や腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術など複数の術式が続々とロボット支援手術の保険適応疾患となっています。また、婦人科領域と重なりますが、2020年に臓器脱に対する仙骨子宮固定術も適応疾患に加わりました。

当科では2019年にロボット支援手術を導入してからすでに300例のロボット支援前立腺全摘除術を施行し、他術式と比較した安全性や機能温存（術後尿禁制、勃起機能温存）における優位性を確認しています。また他術式にも積極的に取り組み、すでに全ての適応術式を開始しました。現在は腹腔鏡下に施行されている腎全摘除術や腎盂尿管全摘除術、副腎摘出術も海外ではすでにロボット支援手術として確立されつつあることから、近い将来日本でも泌尿器科領域でのメジャーな手術はすべてロボット支援下に行われるであろうと予想されます。

この流れに遅れないよう、当科でも一層ロボット支援手術に力を入れていきたいと考えています。

19ヵ月で症例数100件目、呼吸器外科

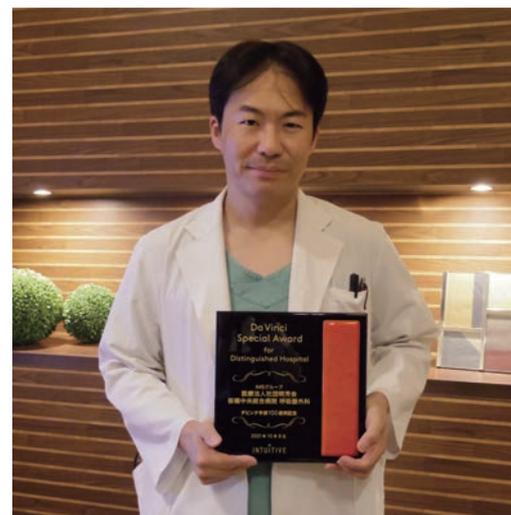
「ダビンチ手術100件目を迎えて」

呼吸器病センター（呼吸器外科） 医長 医師：小林 零

当院での肺がん手術治療の方法は、小開胸+胸腔鏡から完全鏡視下手術を経て、現在の当院に主要な方法となっているロボット支援下手術となりました。ロボット手術は、自動で動くのではなく、我々が操作する装置です。

ロボット手術を開始した当初は、小さな創（キズ）でも大開胸手術を行うような感覚で手術を行うことができる便利な装置であるといった印象でした。

開始後しばらくの期間は、必須となっている日本呼吸器外科学会の規則に則り、プロクター【技術指導医師】の指導のもと経験を重ねていきました。ロボット手術を1件、1件安全に丁寧に行っていくことで、ロボット手術特有の問題点やその対策がわかっていき、それを次の手術に取り入れることで、さらに質の高い、安全な手術を短時間で行うことができるようになりました（幸い、私はすばらしい技術指導の先生に恵まれ、質の高い経験を得ることができました）。



「ダビンチ」専用ページで
詳細をご案内しています。



また、ロボット手術は各科医師の技術だけでなく、手術室スタッフの技術が高いことも不可欠です。つまり、機器のメンテナンス、交換、手術時のセッティングが全て流れるようにスムーズであることが重要です。

2021年10月、当科でのロボット手術は100件を超えました。当院ではほぼ毎日ロボット手術が行われているため、手術室スタッフがロボット手術に習熟しており、ロボット手術は特別なものではなく、日常となっています。

このような環境がスムーズな手術を実現しています。ロボット手術では、手術の部位が10倍拡大かつ立体3D画像で見ることができます。そのため、従来の胸腔鏡手術より精密操作が可能であり、操作に慣れてくると、今まで摘出に難渋していた部位をきれいに切除することも可能になりました。これは、かなりの進歩と考えられますが、ロボット手術でがんを徹底的に切除した場合の体への影響については、今後、注視しなければならないと考えています。

ロボット手術の歴史は浅いですが、ロボット手術を受けられて短期間で元気に退院する方々を見ると、新しい時代の新しい医療がすでに現実になっていると感じます。我々もロボット手術のこれからの進化にさらに期待しています。

体の奥深く非常に狭い手術を扱う、消化器外科

「安心して、“人間の手”以上の手術を」

消化器病センター（外科）主任部長／腹腔鏡手術センター室長 医師：黒崎 哲也



ロボットというとどんなイメージでしょう？鉄腕アトムのような自分で動くロボットを思い浮かべる人もいるかも知れません。しかし、手術用のロボット、「ダビンチシステム」はあくまで人間が操作して手術をするロボットです。

そして、その人間の行う手術の弱みを補ってくれる道具です。ひと昔前であれば名人しか出来ないようなクオリティーの手術、それどころかそれを遙かに凌駕する手術を、誰にでも出来るようにしてくれる、そんな道具が手術ロボット、ダビンチです。直腸手術は体の奥深い、そして非常に狭い場所での手術です。しかも、そこには傷つけてはいけない重要な血管や神経が集まっています。そんな空間で必要な癌細胞を取り残さなく切除する手術は、これまでとても高度な技術を必要としていました。

ロボット手術により、“傷つけない”“取り残さない”という一見相反する二つの事を同時に実現可能となりました。これにより合併症や後遺症を減らすと同時に再発も減らす事が期待されています。

手術ロボットはこれまでのロボットがそうであったように、今後急速に普及していくと思います。しかし、現在は外科ロボット手術をするためのライセンスは厳しく規制されています。当院ではそのライセンスを4人の外科医が取得し手術を行っています。安心して、“人間の手”以上の手術を受けていただきたいと思います。





早期発見で早期治療を！

板橋中央総合病院で実施している検診は、豊富な検査項目がございます。
診察をせずに、検査のみ実施することが可能です。

まずは、当院でお気軽に検査を行うことができるおすすめ的项目をご紹介します。

前立腺がんチェック

50歳以上の日本人男性の2割の方にあるといわれている前立腺がんは、初期の自覚症状がほとんどありません。比較的進行が緩やかで、早期発見できれば十分に根治が望めます。採血のみで調べることが可能なので、まずは検査をおすすめします。

検査方法：PSA 検査（血液検査） 対象：40歳以上の方
申し込み：完全予約制 料金：550円（税込）



胸部低線量 CT 検査（肺がんチェック）

通常のCT検査よりも放射線被ばくを減らすため、少量の照射線量を用いて肺がん検査を行います。検査時間はわずか数分なので、長時間の検査が苦手な方にもおすすめです。

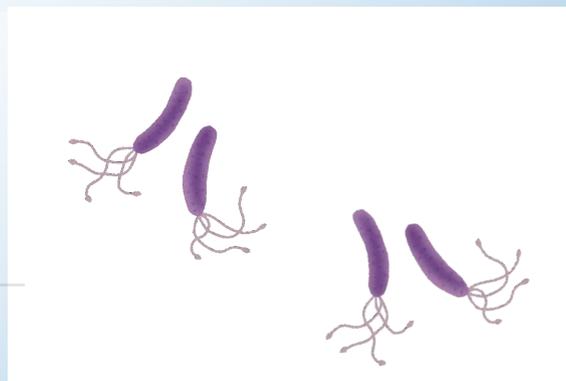
検査方法：胸部低線量CT検査 料金：3,300円（税込）
申し込み：完全予約制
板橋区民健診（11/30（火）まで）と同時予約で受診可能



尿中ピロリ菌検査（胃がんチェック）

60歳以上の日本人の50%近くの方にピロリ菌がおり、その年代の胃がんの原因としてピロリ菌が大きく関係しています。尿検査のみで体内のピロリ菌を調べることが可能です。当日施行し、最短1時間で結果をお伝えいたします。

検査方法：尿検査 料金：1,100円（税込）



詳細に関するお問い合わせ・ご予約は **B館1階地域健康相談室窓口** または **03-3967-1181**（代表）

にて承っております。みなさまのご受診をお待ちしております。



祝 日

診 療

祝日も診療を行っています。

1月10日（月・成人の日）は祝日診療を行います。

- ・急に体調が悪くなった。
 - ・予約制の、人間ドックを受診したい。
 - ・平日は忙しいので、お休みの日に受診したい。
- などのお悩みにお応えします。

（祝日となりますので、通常の診療費に加え休日診療加算が追加されます。）

無痛 MRI 乳がん検診をご存知ですか？

MRIで行う「痛くない」「見られない」乳がん検診
「ドゥイブスサーチ」をご存知ですか？

2020年9月に導入し、2021年10月現在で296件を実施するに至り、
多くの方にご好評をいただいております。

当院公式 YouTube にて紹介 Movie を UP していますのでぜひご覧ください！ ▼

ご予約・お問い合わせ

B館1階 地域健康相談室 03-3967-1181（代表）

検 診

紹 介



講 座

案 内

12月開催の無料公開医療講座

知りたい脳血管内治療

～カテーテルを使った頭を切らずに治す脳卒中～

日時：12月13日（月）15時00分～16時30分（開場14時30分～）

講師：板橋中央総合病院 脳神経外科 医師 片桐 彰久

ご予約は、

巣鴨地域文化創造館 03-3576-2637 までお願いいたします。

セカンドオピニオンをオンラインで受けてみませんか。

板橋中央総合病院のセカンドオピニオンは、対面型の他にオンライン型がございます。
「遠くに住んでいるから来院は難しいけど、ぜひ相談をしたい」という方は、オンライン型のセカンドオピニオンをご検討してみてもいいでしょうか。

腎臓内科

【担当】

院長補佐／内科統括部長／腎臓内科主任部長
医師：塚本 雄介

腎臓外科

【担当】

臓器移植センター(移植外科・腎臓外科)
臓器移植センター長 医師：中島 一朗

放射線治療

【担当】

放射線治療科 医長
医師：大浦 祐子

当院では、3つの診療科でオンラインセカンドオピニオンを行っております(2021年11月現在)。詳しくはこちらをご覧ください。



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ



STEP 1 相談

GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2 情報提供

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

STEP 3 受診決定

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)・
対象者さま基本情報等の連絡
【入院(所・居)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック



gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



FREE 0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 / 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
http://www.ims.gr.jp/gscenter/

—理念—

安全で最適な医療を提供し、
「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

《板橋中央総合病院 基本方針》

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。



板橋中央総合病院
公式チャンネル Ita Tube



板橋中央総合病院
公式LINEアカウント



TEL 03-3967-1181(代表)

ACCESS

〒174-0051
東京都板橋区小豆沢2-12-7

HP <https://ims-itabashi.jp/>



都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車
A1 / A3 出口より徒歩1分